

こどもの城 ニュース

1999・4・15 NO. 93 発行/[こどもの城]広報部 ☎03-3797-5666
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

「つし」

ほくの名前はツクシ。日本人は漢字で「土筆」とあてただけで、雰囲気であるよね。そばに緑色のスギナがあって、栄養はスギナが担当、ほくは子孫を増やす役をするんだ。「ツクシだれの子、スギナの子」じゃないんだよ。

スギナの節(ふし)を一度抜いて、元にもどして「どこが切れている?」なんて「あてっこ遊び」ができるし、ツクシのてんぷらやたまごじはおいしいよ。(こどもの国=横浜)



帰ってきた

キャッスルクエスト

— 暗黒のラバナ —

5月1日～5日に、プレイホール、A・Bスタジオ、屋上ふしぎが丘などを使って行われる「キャッスルクエスト～暗黒のラバナ」。1988～92年に行われて人気を集めたプログラム「キャッスルクエスト」がパワーアップして復活します。人気のテレビゲーム(RPG=ロール・プレイング・ゲーム)をヒントに、インドネシアの民話や音楽、影絵などを組み合わせたオリジナルの体験型ゲームで、「こどもの城」に隠された謎を解きながら、みんなで協力してゴールをめざします。今回も、暗黒の魔王ラバナを倒す、新しい旅が始まるのです。

インドネシアには、多くの伝統芸能が伝えられています。「バリス(戦士の踊り)」(左)、「パロダンス」(中央)——これらの踊りは、祭りなどのときに、神にささげられます。写真右は、地上と天国の間を行き来する伝説の怪鳥「ガルウ」。



バリの「割れ門」

「キャッスルクエスト～暗黒のラバナ」は、インドの2大叙事詩の1つ「ラーマヤナ物語」を下敷きにしています。この物語は、広くアジアに広がり、インドネシアではだれもが知っているお話です。

「キャッスルクエスト～暗黒のラバナ」ストーリー
はるか大昔、南にある平和な島が、突然暗黒の魔王ラバナによって支配されてしまった。しかし、勇者ラーマ、弟の戦士ラクサマナ、魔法使いのシータ姫とともに、魔王ラバナを聖なる楽器「ゴング」の中に封じ込めたのだが……。

次々と高性能機種が開発されたり、持ち運べるタイプのものが作られたりするなど、テレビゲームはどんどん進化しています。仮想世界(バーチャルリアリティ)の中でさまざまなことを楽しむこともできます。しかし、感情を持った「人(自分以外の人)」との触れ合い・交流が難しいという一面もあります。「キャッスルクエスト～暗黒のラバナ」は、全体が1つの「ごっこ遊び」。参加する人みんなが、主人公です。スタートからゴールまでのさまざまな場面は、みんなで力を合わせたり、知恵をしぼりあったりしなければクリアできないようになっています。



暗黒の魔王ラバナに立ち向かうために、いくつかの修業の場をクリアしていかなくてはならない(今までに行われた「キャッスルクエスト」のステップ)。



「キャッスルクエスト～暗黒のラバナ」には、インドネシアの音楽を体験するエリア(修業の場)もあります。青銅の打楽器のオーケストラ「ガムラン」は、インドネシアを代表する民族音楽。広い国土を持つインドネシアでは、地方によって楽器の形が異なるなど、いろいろな「ガムラン」があります。私たちに、耳慣れない音階(エキゾチックなメロディ)ですが、「修業」をすれば、だれでも演奏することができます。心を1つに合わせて合奏すれば、大音量の「ガムラン」が響き渡ります。写真上は、「バリのガムラン」。

5月5日から「児童福祉週間」

5月5日の「こどもの日」から始まる「児童福祉週間」は、子どもの健全な成長を願って、戦後間もない1947年(昭和22年)から行われています。翌1948年(昭和23年)には、「すべて国民は、児童が心身ともに健全に生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない」「すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない」を理念とした「児童福祉法」が施行されています。



一年間の活動の成果を披露
音楽講座の合同発表会
ほくらのサウンド'99



「和太鼓グループ」(左七)、エレクトリック・アンサンブル」(左中央)、「おあさんもいっしょリトミック」(合唱講座) (左下)、「ガムラン」(中央七)、「集まれ! みんなのリズム」(右七)、「リズムムービー」(右中央)、「三味線」(右下)の演奏風景。3月20日・22日、青山田形劇場。

1999ゴールデンウィーク特別期間

痛快・冒険・体験ゲーム
キャッスルクエスト
暗黒のラバナ

あけてビックリ!!
しかけ絵本の世界
「ラップルの冒険」



「こどもの城」で
なにかが始まる

みどりの目スペシャル
サンパでフットサル

こどもの城

4月29日(木)～5月5日(水)

開館時間
午前10時～午後5時30分
4月30日は午後0時30分開館
(入館は午後5時まで)
5月5日の「こどもの日」は
18歳未満のこどもの
入館は無料です。
☎03-3797-5666



スタンプを集めて
記念品をゲットしよう!

**ホップ・ステップ・ジャンプ
キャンペーン**

4月8日～7月16日
期間中 平日限定

【こどもの城】に遊びに来て、スタンプを集めると記念品がもらえる「ホップ・ステップ・ジャンプ キャンペーン」が始まりました。利用者の少ない平日に、【こどもの城】をゆっくり楽しんでらおうと始めたものです。

入り口で入館券を提示するとキャンペーンカードがもらえます。次回から、平日に利用する際にキャン

**平日に【こどもの城】で遊んで
スタンプ集めると記念品がもらえるよ!**

ーンカードを提示するとスタンプを押してくれます。スタンプが3つ集まると、すてきな記念品と交換。

キャンペーンについてのお問い合わせは、1階アトリウム講座受付係【☎03-3797-5666】へ。

お得で便利な「平日ゆうゆうパス」も好評発売中

18歳以上の利用者(大人)を対象にした「平日ゆうゆうパス」も発売しています。有効期間は発行日から1年間。期間中の平日(12時30分開館の日)にかぎり何回でもご利用いただけます。

「平日ゆうゆうパス」は、平日に利

用する機会の多い人、講座の付き添いなどで繰り返し入館される人などには大変便利なパスです。ぜひ、ご利用ください。お申し込みには、料金3,000円のほか写真が必要です。お問い合わせ・お申し込みは、1階アトリウム講座受付係【☎03-3797-5666】へ。

なお、講座・クラブなどを受講している方は、受講証やクラブ員証を提示すれば、有効期間内は何回でも【こどもの城】を利用できます。

このほか、いつでも使える回数券(こども4,000円、大人5,000円。いずれも12枚つづり)などのお得なチケットがあります。

**ゴールデンウィーク“こどもフェスティバル”
家族で楽しめるコンサートや演劇**

ゴールデンウィークの恒例プログラム、家族で楽しめるコンサートや演劇がいっぱいの「こどもフェスティバル」が、今年も5月2日～5日に青山円形劇場で開催されます。

「こどもフェスティバル」の上演プログラムは次のとおりです。

【5月2日】竹の響き アンクルンコンサート (こどもの城アンクルングループ)

インドネシアの竹の楽器“アンクルン”のカラカラ、コロコロという澄んだ音色が響き渡るコンサート。体験コーナーもあります。

【5月3日】三人であそぼ (11時と1時30分・未確認ともたち物体 (3時30分) (劇団青芸)

「柿山伏」「居杭」という2つの狂言を楽しい劇仕立てにした「三人であそぼ」など、子ども向けのオリジナル作品を上演。

【5月4日】あつむの時間はアンデルセン (劇団あつむ)

ウレタンの棒などを使って、さまざまな“もの”を表現する「アニメイム」とコーラスでアンデルセンのおはなしを繰り広げます。



あつむの時間はアンデルセン



おんがくがスキ!

【5月5日】おんがくがスキ! (ガドガド)

音楽好きの5人のバンド。がらく

た楽器の演奏や音楽遊びもまじえ、子どもから大人までエキサイティングな音楽をエンジョイ!

公演時間はいずれも、11時、1時30分、3時30分の3回。【こどもの城】入館券のみで入場できますが、会場整理の都合上、入場整理券が必要です。11時の公演は10時から、午後の2つの公演は12時から1階アトリウムで先着順に入場整理券を配付します。



**紙コップ人形で劇遊びを
楽しんであそびのおもちゃ箱**

【こどもの城】のボランティアが一堂に集まって人形劇などの公演をする「ひらけ あそびのおもちゃ箱」公演の合同には、紙コップで人形を作った劇遊び、用意された家や森などの背景の中でおもいおもいのお話を作った遊びました。

**プレイホールに、巨大迷路
「ジュラシック忍者ハーク」出現**

【こどもの城】の遊びのクラブ「ユースクラブ」(小5～中3)のメンバーが、みんなでアイデアを出し合い、力をあわせて作ったものです。遊びに来た子どもたちは大喜び、何回も何回も迷路を探索していました(3月14日)。



**家族のための遊びのワークショップ
毎月1回ファミリー・プレイタイム**

「ファミリープレイタイム」は、家族のための遊びのワークショップ。親子が一緒になって考え、遊び、楽しみます。4月から毎月1回学校の休み(土・日曜日など)に開催します。4月24日の「ファミリーわなげ大会」(4歳以上の子どもと親のペア30組。午後1時～2時)は、当日の

平成11年度 第1回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会
**「不思議な映像実験室」テーマに
5月12・19日に通いの講習会**

平成11年度の第1回「こどもの城児童厚生員等実技指導講習会」が、5月12日と19日(いずれも水曜日)の2日間にわたって【こどもの城】研修室で開催されます。

今回の講習会のテーマは「不思議な映像実験室」。映像が映ったり、動いて見えたりするしくみを体験する“映像遊び”のプログラムを取り上げます。カメラなどの特別な機器を使用しないで、身近にあるもの(紙、筆記具など)を使って楽しむことのできる“視覚玩具”(「くるくるアニメ」「ライトパノラマ」など)、レンズを使わなくても写真が撮れる「ピンホールカメラ」、家庭用ビデオカメラを使ったプログラムなど、“映像”の不思議を体験する映像遊びの数々を紹介いたします。

1日目は「映像の不思議」の講義のほか「動く映像遊び」と「映す映像遊び」の実習。2日目は「写る映像遊び」「ビデオを使った映像プログラムの紹介・実習」を行な

**〈動くこどもの城〉の事業
全国の児童館からプログラムを募集して巡回**

本年度から〈動くこどもの城〉事業として、それぞれの地域の児童館・児童センターなどで実践している活動プログラムを、他の地域の児童館などに紹介すると同時に、児童館同士の交流を図る事業を新たに実施することになりました。

これは、全国レベルで児童館活動の活性化を願って行われるもの。各地の児童館などでさまざまな活動が行われていても、交流の機会が少ないため、互いの情報を交換したり、プログラムを企画・実施するうえの参考にしたりが少ないのが現状です。児童館同士が相互に刺激あい、より充実した活動をめざすものです。

現在、プログラムを募集しています。締め切りは8月末日。巡回することが決定したプログラムは、平成12年度から従来のプログラムと併せて派遣をする予定です。

募集するプログラムや費用のことなど詳しいことは、〈動くこどもの城〉事務局【こどもの城企画研修部 ☎03-3797-5665】までお問い合わせください。



**音楽に合わせて会場いっぱい
熱演を披露した「体操発表会」**

3月14日、体育室で「体操発表会」が開催されました。「幼児体育」を受講している3～5歳児50人と、「ジュニア・シニア新体操」の受講生(小1～中3)40人が1年間の練習の成果を披露、会場からはたくさんのお暖かい拍手がおくられました。

「幼児グループ」修了式

3月21日、「幼児グループ」の5歳児9人が元気いっぱい卒園を迎えました。4歳児のお友だちから祝福の花束を受け取って、2年間通った【こどもの城】ともお別れ。4月からはそれぞれ小学校に通います。

厚生省が「子どもとの暮らしを応援する本」を作成

厚生省では、子育て支援情報提供事業の1つとして、「子育ての楽しさ」「子育てにおける息抜き、リラックスの大切さ」を“絵本”にした「それでいいよ だいじょうぶ～子どもとの暮らしを応援する本」(B6判変型、オールカラー、64ページ)を作成、保育所や保健所の健診などの機会とおして配付しています。

子育ての最中に、落ち込んだり悩んだり、ときには自分を責めてしまったりすることがありますが、そんなときに、ちょっぴり勇気と元気を与えてくれる絵本です。

【こどもの城】小児保健部の小児科医、管理栄養士、看護婦、保健婦、臨床心理士が小冊子作成委員会の委員として参画しました。

受講生募集中!
**5月30日と6月6日に
「おやこ三味線クラス」**

日本の伝統的な楽器に親しむ

日本の伝統的な楽器の1つ、三味線。【こどもの城】では、毎週日曜日に、子どもたちを対象とした講座が開かれ、小学校2年生から高校生の子どもたちが練習に励んでいます。今回、より多くの人に三味線の魅力を体験してもらおうと、小学生から高校生の子どもと親を対象とした一日体験教室「おやこ三味線クラス」を開催します。まずは、どんなものか試してみませんか。

○日時＝5月30日(日)10時30分～12時30分/6月6日(日)2時30分～4時30分。いずれも都合の良い日程を選んでお申し込みください。

○対象・定員＝小1～高3の子どもと親/各回12組

▽出演＝平野忠彦、夏樹陽子、千堂あきほ、永井秀明ほか

○講師＝田島佳子(長崎東音楽院理事・前東京芸術大学客員教授)

○受講料＝1,000円

お申し込みは、直接【こどもの城】1階アトリウム講座受付カウンターまでおこしください。

お問い合わせは【こどもの城】音楽事業部【☎03-3797-5663】へ。

9月からは、週1回の講座「おやこ三味線クラス」を毎週日曜日に開講する予定です。

青山円形劇場

●がんばれ! 雅和と闘う人々
HAWAIIAN CHARITY CONCERT Vol.5
▽4月22・23日▽6,000円

●鶴瓶 99春
▽4月24～28日▽3,150円

●こどもフェスティバル
○5月2日「竹の響き アンクルンコンサート」
○5月3日「三人であそぼ」「未確認ともたち物体」

▽5月4日「あつむの時間はアンデルセン」
○5月5日「おんがくがスキ!」
▽1日3回公演/入館券で入場できますが、当日配布の整理券が必要です。

●音楽の玉手箱 '99
「さねよいさ子円形音楽会'99」
▽5月9～11日▽4,000円

●月影十番勝負 第五番
「僕の良い人だから」
▽5月14～23日▽4,200円(当日=4,500円)
▽高田聖子ほか

■ご予約・お問い合わせは、青山劇場予約センター【☎03-3797-1400】へ。

サントリホール — 子ども大人も楽しめる<60分コンサート> —

こどもの城コンサート

指揮：おなし●梅田俊明 司会：語り●土居裕子 オークストラ●日本フィルハーモニー交響楽団 構成●海野洋司

'99年 **5/5** (水祝) サントリホール大ホール [2回公演]

①11:00開演 ②14:00開演
10:00開演 12:00開演予定 13:00開演 15:00開演予定

全席指定 **2,500円**
*4歳から入場できます。
年齢にかかわらず、チケットはお一人一枚ご用意ください。
サントリホールチケットセンター ☎03-3584-9999

1. リヒャルト・シュトラウス：
交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」より
(映画「2001年宇宙の旅」タイトルバック)

2. ヨハン・シュトラウス2世：
ポルカ「クラブフェンの森で」

3. ヨハン・シュトラウス2世：ポルカ「狩」

4. スメタナ：交響詩「モルダウ」

5. 芥川龍之介：ドレミファソラシド!
— みんなが、オーケストラ

☆ 楽器紹介/音楽しつもんコーナー

6. J.S.バッハ：トッカータとフーガ 二短調

楽器たんけんコーナー (開演前・小ホールにて)

オーケストラと、いっしょになる日。